

保護者の皆さまへ

令和7年度 学校教育自己診断 結果報告書

河内長野市立加賀田中学校
校長 木村 淳

1. はじめに

今年度も生徒、保護者、教職員等の本校の教育に対する幅広い考えを知る目的で、「令和7年度 学校教育自己診断」を実施しました。この報告書では生徒、保護者調査を中心にその結果を考察し、本校の来年度以降の教育活動に活かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

2. 調査内容

本校の現状や課題、昨年度の調査結果等を考慮して、全生徒、保護者の方々に対して令和8年2月に18の調査項目（アンケート形式）で実施しました。内容については、「よくわからない」という選択肢をできるだけ避けるため、問いの文面を一部変更しています。集計結果及び考察等について、以下の通りまとめておりますのでご一読ください。

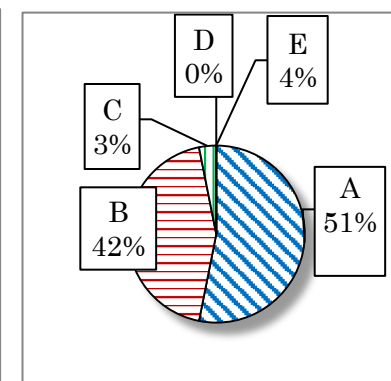
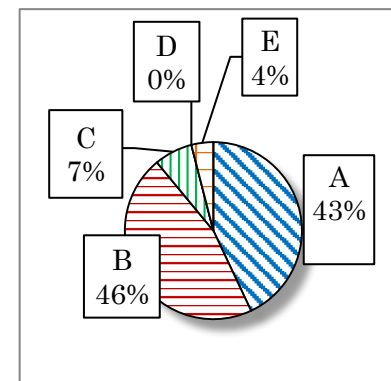
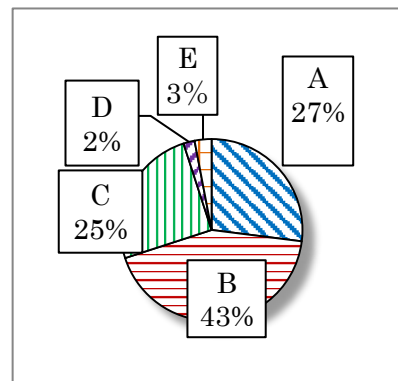
3. 調査結果

【アンケート結果の見方】

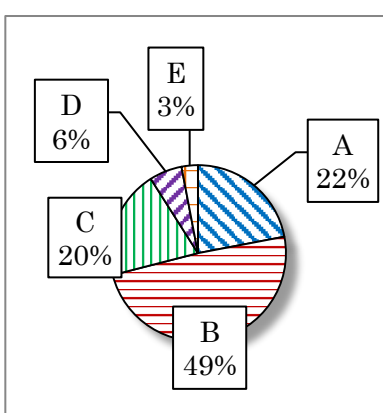
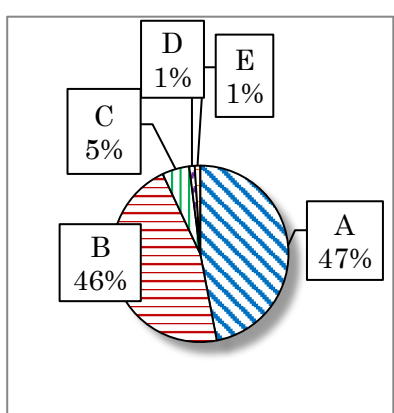
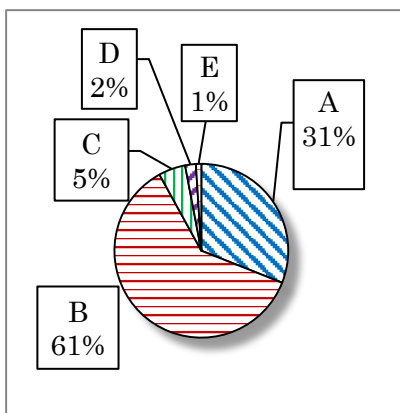
A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない
D：まったくあてはまらない E：よくわからない

生徒調査・・・18項目の結果を表示します。

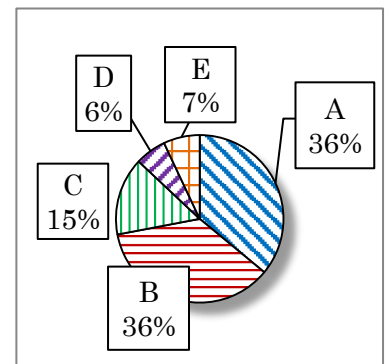
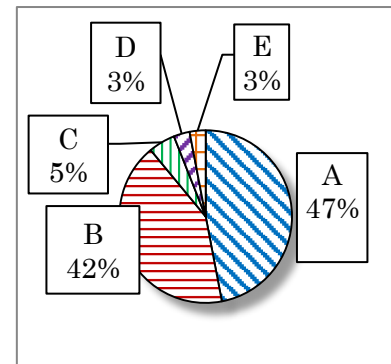
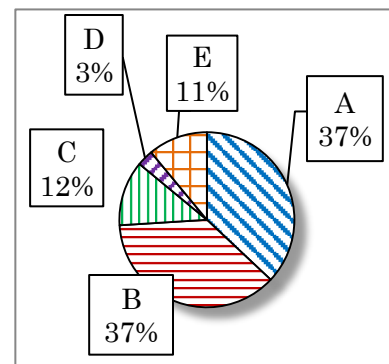
- 4. 授業中分からないことがあれば、質問をすることができる。
- 5. 自分が習っている先生の中では、指導の仕方でいろいろ工夫している先生が多い。
- 6. 学校では、人権の大切さについて学習する機会がある。



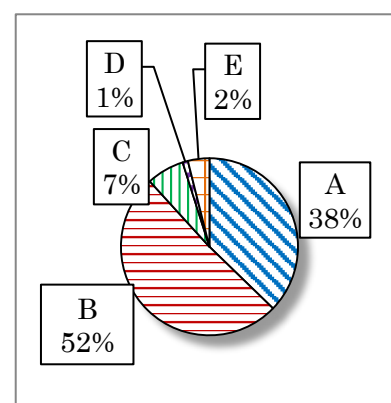
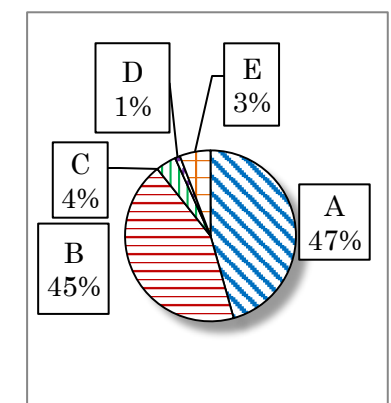
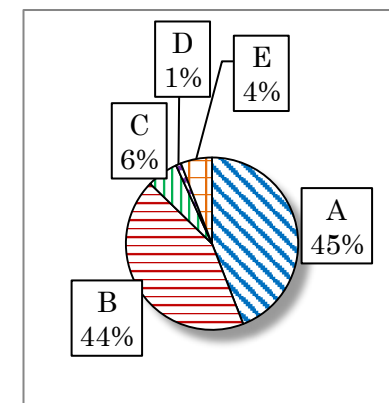
- 1. 全般的に授業はよくわかる。
- 2. 学校生活の基本は毎時間の授業なので大切にしたいと思っている。
- 3. 授業や学級活動で、自分の意見を発表することができる。



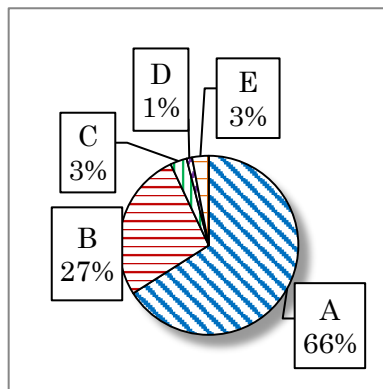
- 7. 一斉授業に比べて、少人数指導等(習熟度別学習や複数の先生による授業を含む)の方が、発言しやすいなど、学習意欲が向上した。
- 8. 全般的に学校生活は楽しいと感じている。
- 9. 学校には何かあれば相談できる先生がいる。



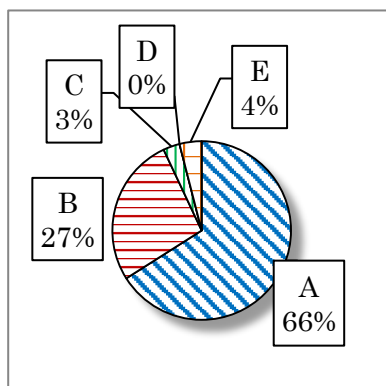
- 10. 部活動に積極的に参加している生徒が多いと感じる。
- 11. 本校の生徒会活動や委員会活動は活発だと思う。
- 12. 生徒会活動や委員会活動には、自分のできる範囲で協力したいと思う。



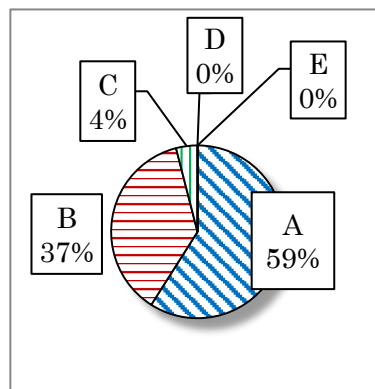
13. 今年の体育大会では、自分としては頑張って取り組むことができたと思う。



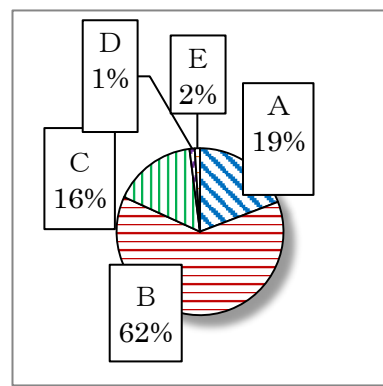
14. 今年の文化発表会では自分としては頑張って取り組むことができたと思う。



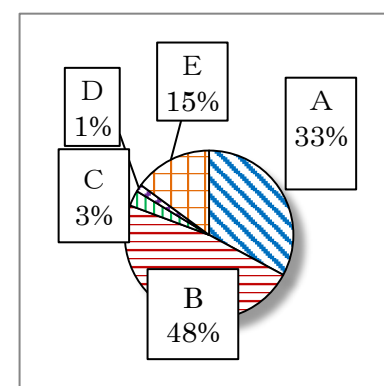
15. 毎日の清掃活動にはちゃんと参加している。



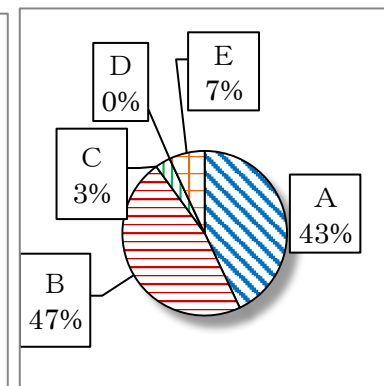
4. 学校での子どもの生活や学習内容については、ある程度把握している。



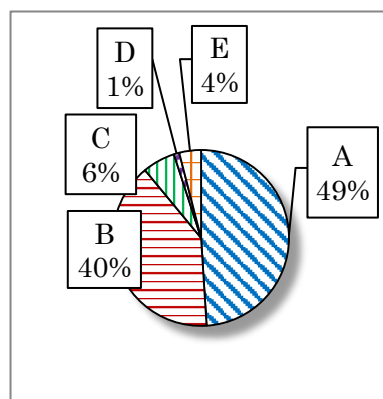
5. 学校は、子どもに人権を尊重しようとする意識を育てようとしている。



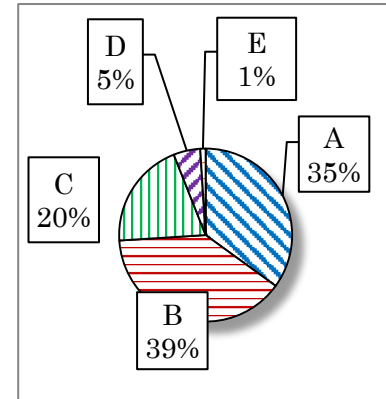
6. 学校は保護者が子どもの様子等について相談したことに適切に対応してくれる。



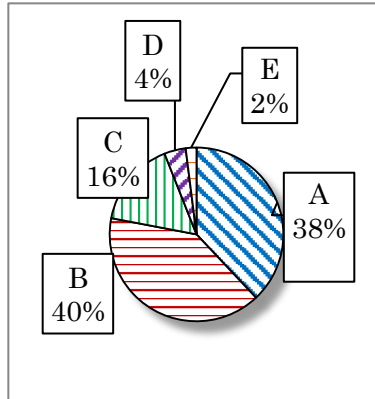
16. 昼食の時間は食事を楽しみ、ほっとする時間になっている。



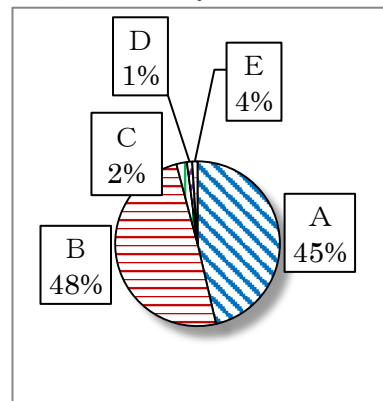
17. 学校からの配布物は、親に渡している。



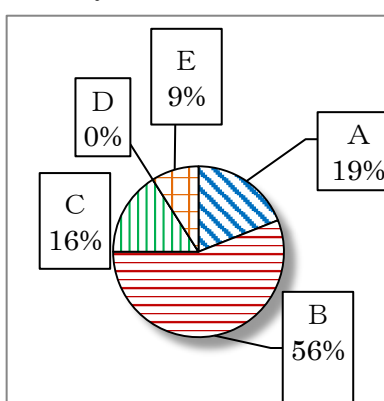
18. 学校の様子について、家庭で話し合う機会がある。



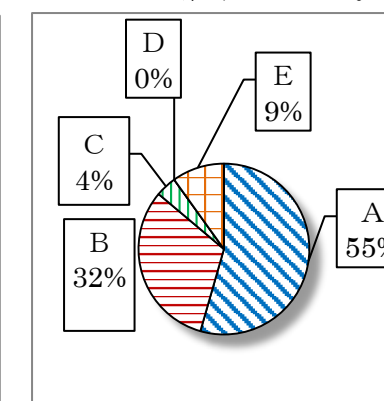
7. 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。



8. 普段の授業について、子どもはわかりやすいと言っている。

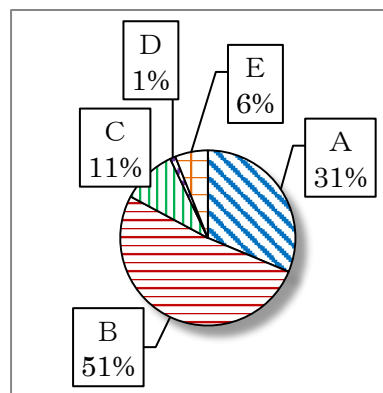


9. 一斉授業に比べて、少人数指導等の方が、子どもにとって効果的である。

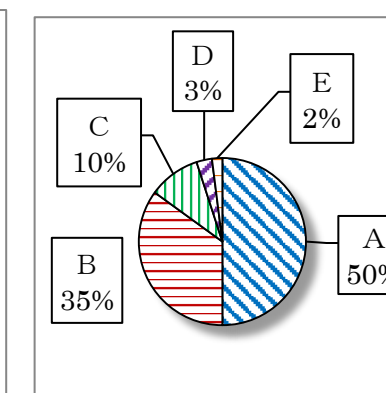


保護者調査・・・18項目の中で保護者の関心が高いと思われる調査項目を、例年同様に12項目を選んで表示します。

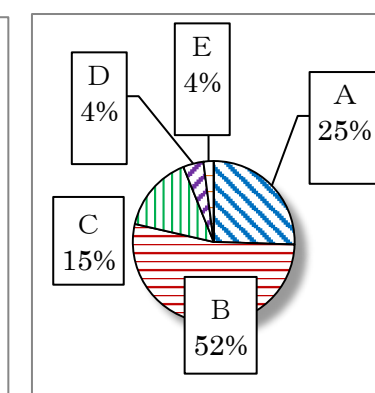
1. 学校の教育目標や指導方針は、分かりやすく保護者に知らされている。



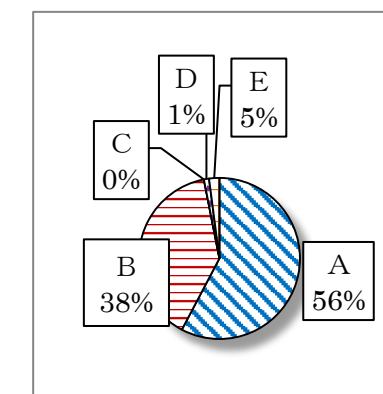
2. 授業参観や学級懇談会には、出来るだけ参加するよう心がけている。



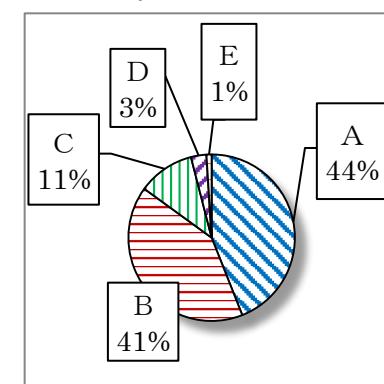
3. 学校の教育活動やPTA活動には、協力していきたいと思う。



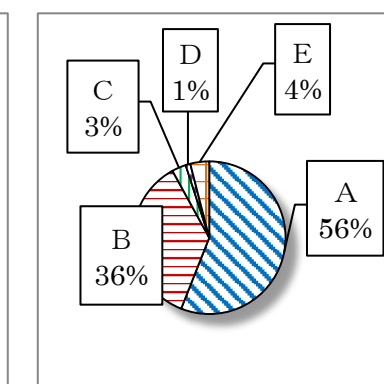
10. 年間を通じての学校行事の内容や数は適切である。



11. 学校からの子どもを通じての配布物には目を通して見る。



12. 学校から保護者への文書や連絡等は適切である。



経年比較調査・・・生徒調査及び保護者調査において、令和5年度から7年度の3年間を比較して、A及びBの回答合計の増減の傾向を表にまとめました。

○生徒調査（※すべての項目） A（よくあてはまる）及びB（ややあてはまる）の合計

項目	令和5年 A B合計	令和6年 A B合計	令和7年 A B合計
1. 一般的に授業はよくわかる。	84%	90%	92%↗
2. 学校生活の基本は毎時間の授業なので大切にしたいと思っている。	88%	87%	93%↗
3. 授業や学級活動で自分の意見を発表することがある。	60%	64%	71%↗
4. 授業中分からないことがあれば、質問をすることができる。	63%	63%	70%↗
5. 自分が習っている先生の中では、指導の仕方でいろいろ夫している先生が多い。	81%	86%	89%↗
6. 学校では、人権の大切さについて学習する機会がある。	87%	92%	93%↗
7. 一斉授業に比べて、少人数指導等(習熟度別学習や複数の先生による授業を含む)の方が、発言しやすいなど、学習意欲が向上した。	75%	68%	74%→
8. 一般的に学校生活は楽しいと感じている。	82%	89%	89%→
9. 学校には何かあれば相談できる先生がいる。	69%	77%	72%↘
10. 部活動に積極的に参加している生徒が多いと感じる。	70%	80%	89%↗
11. 本校の生徒会活動や委員会活動は活発だと思う。	87%	90%	92%↗
12. 生徒会活動や委員会活動には、自分のできる範囲で協力したいと思う。	88%	83%	90%→
13. 今年の体育大会では、自分としては頑張って取り組むことができたと思う。	89%	93%	93%→
14. 今年の文化発表会では、自分としては頑張って取り組むことができたと思う。	92%	96%	93%→
15. 毎日の清掃活動にはちゃんと参加している。	92%	94%	96%→

16. 昼食の時間は食事を楽しみ、ほっとする時間になっている。	87%	83%	89%→
17. 学校からの配布物は、親に渡している。	74%	78%	74%→
18. 学校の様子について、家庭で話し合う機会がある。	70%	73%	78%↗

○保護者調査（※抜粋12項目） A（よくあてはまる）及びB（ややあてはまる）の合計

項目	令和5年 A B合計	令和6年 A B合計	令和7年 A B合計
1. 学校の教育目標や指導方針は、分かりやすく保護者に知らされている。	80%	85%	82%→
2. 授業参観や学級懇談会には、出来るだけ参加するよう心がけている。	82%	90%	85%→
3. 学校の教育活動やPTA活動には、協力していきたいと思う。	74%	77%	77%→
4. 学校での子どもの生活や学習内容については、ある程度把握している。	78%	86%	81%→
5. 学校は、子どもに人権を尊重しようとする意識を育てようとしている。	75%	84%	81%→
6. 学校は、保護者が子どもの様子等について相談したことに適切に対応してくれる。	84%	84%	90%↗
7. 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	81%	91%	93%↗
8. 普段の授業について、子どもはわかりやすいと言っている。	70%	67%	75%↗
9. 一斉授業に比べて、少人数授業の方が、子どもにとって効果的である。	86%	86%	87%→
10. 年間を通じての学校行事の内容や数は適切である。	90%	97%	94%→
11. 学校からの子どもを通じての配布物には目を通してしている。	82%	87%	85%→
12. 学校から保護者への文書や連絡などは適切である。	91%	91%	92%→

4. 学校教育自己診断の結果からの考察及び今後の改善策（校長より）

まず、本校は今年度当初、以下の4つの教育目標を掲げました。

- ① 『思いやる心』を育てる人権教育
- ② 『確かな学び』を実現する学習指導
- ③ 『自尊感情』を高める特別活動への支援
- ④ 『安心安全な居場所』としての学校づくり

生徒調査結果より

今回のアンケート結果には、これらの目標に対する成果が顕著に表れた部分があったと考えています。肯定的評価を見ると、「1. 授業はよくわかる (92%)」「2. 授業を大切にしている (93%)」と高い数値を示しました。生徒たちはまず第一に授業を大切に考えており、学習内容についても一定の理解を示している様子が見えます。「大切にしているからこそ、よくわかる」のだと言えるでしょう。私自身、授業観察を行う中で、学年が上がるにつれ学習に臨む姿勢が確立されてきていると実感しています。教員側も、授業改善や指導方法の工夫など、生徒が理解しやすい授業づくりに向けて研修を重ねてまいりました。こうした教育目標への意識の浸透が良い結果につながったと考えられます。

また、「6. 人権を学ぶ機会がある (93%)」についても、昨年度に引き続き、様々な時間・場所・方法において人権の大切さを考えさせるよう努めてきました。教育目標の第一柱に据えたことを教職員が深く理解し、生徒と共に取り組んできた結果が、人権意識の向上に結びついたのでないでしょうか。今後も人権教育を学校教育全般の要とし、あらゆる機会を通じて継続してまいります。

さらに、生徒会・委員会活動や、体育大会、文化発表会などの主体的行事についても、生徒の満足度は高いと言えます。「13. 体育大会を頑張れた (93%)」「14. 文化発表会を頑張れた (93%)」という結果は、これらが本校の二大伝統行事として定着している証拠です。いずれも「自己決定」と「生徒自治」をコンセプトとしており、生徒の主体性が存分に発揮されました。

一方、肯定的評価が比較的低かった項目として、「3. 自分の意見を発表することができる (71%)」「4. 授業中質問をすることができる (70%)」「9. 相談できる先生がいる (72%)」が挙げられます。これらは昨年度からの継続した課題であり、生徒が自己表現や困った時の相談に苦手意識を持っている様子が見えます。将来、社会で活躍する上でも「自分を表現すること」や「人に相談すること」は不可欠な能力です。特に「相談できる先生がいる」の項目が昨年度より低下している点は重く受け止めています。学校として、これまで以上に相談しやすい雰囲気づくりを徹底し、生徒から信頼され、安心して自分を出せるような仕組みづくりと実践を進めてまいります。

保護者調査結果より

保護者の皆さまへのアンケートでは、全18項目中4項目で肯定的評価が90%を超えました。「6. 相談に適切に対応してくれる (90%)」「7. 連絡や意思疎通をきめ細かく行っている (93%)」「10. 学校行事の内容や数が適切である (94%)」「12. 保護者への文書や連絡が適切である (92%)」これらの結果から、ご家庭との連携が日頃より適切に図れていることが確認でき、深く感謝申し上げます。

一昨年度末に導入した「tetoru (テトル)」により、欠席連絡の簡略化や緊急情報の迅速な共有が可能となり、利便性が向上したことも好影響を与えていると考えております。一方で、本校では電話や家庭訪問といった「直接の対話」を今後も大切にしていきたいと考えております。状況に応じた丁寧な対応を心がけてまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。また、行事や懇談会への積極的なご参加が、現在の良好な関係の礎となっています。より良い教育環境を、学校と家庭が一体となって創り上げていければ幸いです。

一方、肯定的評価が70%台に留まったのは、「3. PTA活動には協力していきたい (77%)」「8. 授業について子どもはわかりやすいと言っている (75%)」の2項目でした。「授業のわかりやすさ」については、生徒アンケート (92%) との乖離が大きく見られました。授業改善に向けて研修や公開授業を重ねてまいりましたが、保護者の皆さまにその成果を実感していただくには、まだ改善の余地があると言えます。さらなる工夫を取り入れ、生徒・保護者双方が満足できる授業を追求してまいります。

また、PTA組織については、本校では各ご家庭により加入率が95%以上を毎年維持しております。この場をお借りして、本校の学校教育充実のためお力添えをいただいていることを、あらためて感謝申し上げます。運営委員会ではご家庭の負担をできるだけ軽減できるよう学校規模に合わせた形へと精選を進めております。今後も協力しやすい体制づくりに努めてまいりますので、温かいご支援をお願い申し上げます。

5. おわりに

本調査にご協力いただきました保護者の皆さま、誠にありがとうございました。今回の結果を俯瞰しますと、本校の教育活動にある一定の満足いただけているものと感じております。これは何より、本校の保護者の皆さまが学校に対して協力的であり、「共に子どもを育てよう」という高い意識を持ってくださっているおかげです。

次年度につきましても、引き続き4つの目標を堅持し、教育活動に邁進してまいります。今後とも、保護者、地域の皆さま、そして学校運営協議会委員の皆さまのご理解とご協力を賜り、温かい目をもって学校を育てていただきますよう、心よりお願い申し上げます。